

# 台風接近に伴う農作物等の技術対策

## 【畜産】

### 1 飼料作物

- (1) 冠水や浸水の恐れのあるほ場は、排水溝を整備して排水に努める。台風接近前に短時間で作業完了が可能と判断される場合、収穫を検討する。
- (2) ほ場に水が停滞した場合は、排水口等の整備を行い、速やかに排水を図る。
- (3) 降水量が多い場合は、肥料の流亡も多くなるため、収穫までの期間が長い場合、追肥の実施を検討する。
- (4) 倒伏した場合は、収穫機への負担を考慮し、収穫方向をよく考えて作業機の運行速度を控えめにし、高刈りとする等、収穫時の土壌等の混入を避ける。

### 2 家畜

- (1) 強風に備えて畜舎を補強する。カーフハッチ等軽量物は固定する。
- (2) 大雨に備えて畜舎内外の排水溝の流れを点検する。
- (3) 畜舎内に雨が入らないように破損箇所は事前に修理する。
- (4) 停電に備えて自家発電装置への給油と作動確認等の準備を行う。併せて、浸水による漏電、ショートを防ぐため、回路の防水を確認し、不要な電源は切っておく。
- (5) 尿溜めや堆肥舎に雨水が流入しないように防水対策を実施する。
- (6) 台風通過後、気温が急上昇する場合があるため、風雨がおさまったら速やかに換気を行い、敷料の交換等をして畜舎内を乾燥させて家畜の快適性を確保する。
- (7) 畜舎内への浸水があったところでは、衛生管理に注意し、水洗のあと、消毒を行う。
- (8) 浸水被害にあった牛や子牛は、こまめな観察を行い、異常牛は速やかに診察を受ける。
- (9) 水に浸かったロールや購入乾草等は、カビの恐れがあるため給与しない。